

そう だい
総 題 「ダニエル書—主イエス・キリストの愛と品性の啓示—」

だいさん か ひみつ けいじ
第3課 秘密から啓示へ

しばた ひろし
柴田 寛

いち あんそくにち ご ご こんしゅう
1. 安息日午後：今週のテーマ

せかいじゅう せんそう かんきょう あつか けいけん つぎつぎ
世界中で戦争がおこっています。環境がどんどん悪化し、いままで経験したことのないことが次々おこっ
います。そんな時、私たちは将来に不安を覚えます。でも、安心して下さい。今週は、神様がそれら全てを
こ 超えて、歴史を導いておられ、また、それを私たちにわかる形で教えて下さっているのです。私たちもダニエル
のように、いつも神様を賛美し、礼拝する者となることができる・・・ということを学びます。

に にちようび かみ ないざい
2. 日曜日：神の内在

かみさま とき おう ゆめ とお よ お れきし なが しめ
神様はある時、バビロンの王ネブカドネツアルに「夢」を通して、世の終わりにいたる歴史の流れを示されま
した。神様はこのように、私たちに話しかけ、教えて下さる方です。神様は私たちの遠くにおられる方では
ありません。また、神様は黙ったままで、何かをされません。私たちが安心できるように配慮して下さるお優
かしい方です。

さん げつようび いの
3. 月曜日：祈り

わたし かみさま いの かんが おお ねが お
私たちが神様にささげている祈りについて考えてみましょう。もしかしたら、その多くが「お願いごと」で終
わっていませんか？ ダニエルとその仲間たちは、夢を解き明かせないバビロンの賢者たちに腹を立てたネブカド
ネツアル王に殺されそうになりました。そのような時も、ダニエルは二つの祈りをしました。一つは、夢の秘密を
おし くだ ねが いの ひと かんしゃ さんび いの かみさま ところ
教えて下さいという「お願いの祈り」。そしてもう一つは「感謝と賛美の祈り」でした。ダニエルは神様を心か
ら信頼していたので、自然と感謝と賛美の祈りをすることができました。私たちの祈りがお願いだけで終わり、
かんしゃ さんび な しんらいしん うす しょうこ かみさま しんらい もの すべ あ くだ
感謝と賛美が無いなら、それは「信頼心」が薄いことの証拠です。神様は信頼する者に、全てを明かして下さい
ます。

4. 火曜日：像 ～ 木曜日：石

王が見た夢は、異なる金属と陶土でできた巨大な像が、石（キリストの象徴）によって打ち砕かれるという内容でした。これは、人間の力で築き上げられた金や銀といった立派（に見える）なものは、結局は崩れ去り、最終的に、キリストの御再臨によって、永遠の神の国に入れ替えられる・・・ということの預言、希望です。

5. まとめ

この世界の主人公は富豪、政治家、大国ではなく、イエス・キリストです。それを信じる事ができた時、不安は喜びに、失望は希望に変わります。ガイド副読本 2 8 ページに記されていた次の言葉が心に残りました。

「捕囚生活をしていたイスラエルは、神に見捨てられたのではなく、彼らがそのように感じていただけでした。同様に、現在の政治、経済、社会状況を見回す中で、私たちは、神はこの世界を見放したと思いたくなるかも知れません・・・何が起きようと、神は至高（この上なく、すぐれていること）のお方です・・・歴史は・・・人間の気まぐれで浮き沈みしているわけではありません・・・まもなくして、すべての世界の列強（強い国々のこと）は、神の永遠の王国に取って変えられるでしょう・・・将来は神の御手の中にあるので、私たちは希望を抱いて生きることができます。」（『安息日学校聖書研究ガイド副読本 2020.1） 2 8 ページより）

ダニエル書を学ぶ時、私たちは、見捨てられていないどころか、神様の大きな愛で守られ、導かれていることがわかります。すべては、この世界から、悪の根である「罪」が消し去られるために、通らなければならない道なのでしょう。だから忍耐して、良い時も悪い時も、神さまを信頼し、賛美し、礼拝いたしましょう。

【グループで分かち合しましょう】

ダニエル書 2：20～23 に記されている「感謝と賛美の祈り」を、色々な訳で読み、自分の言葉に置き換え、自分の祈りとして紙に記し、壁や冷蔵庫など好きなところに貼って、何度も繰り返して読みましょう。以下に参考の一例として、リビングバイブル訳を記します。

かみ み な えいえん
「神の御名が、永遠にほめたたえられますように。

かみ ち え ちから も
神だけがすべての知恵と 力 をお持ちです。

せかい できごと かみ しはいか
世界の出来事は、すべて神の支配下にあります。

おう しりぞ もの おうい かみ
王を 退 け、ほかの者を王位につけるのは、神にほかなりません。

ちしや ち え あた がくしや ちせい あた かみ
知者に知恵を与え、学者に知性を与えるのも、神です。

かみ ひと りかい こ ふか おくぎ あき
神は、人の理解を越えた 深い奥義を明らかにしてくださいます。

ひと め かく ぞん
人の目に隠されているどんなこともご存じです。

かみ ひかり くらやみ みとお
神は 光 ですから、どんな暗闇も 見通してしまわれるのです。

わたし せんぞ かみ こころ かんしや さんび
私 の先祖の神よ。心 から感謝し、賛美します。

わたし ち え すこ からだ あた
私 に知恵と健やかな 体 を与えてくださったばかりか、

いま おう ゆめ い み おし しよ にしょうにじゅう にじゅうさんせつ
今、王の夢とその意味をお教えてくださいました。」 (ダニエル書 2章20～23節)